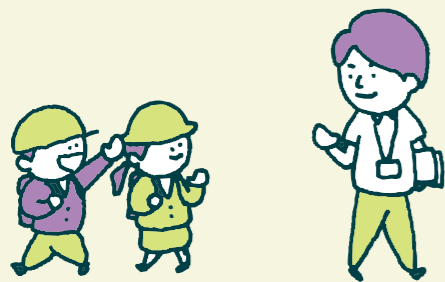


### 3 財政健全化と効率的な行政運営に取り組みます

- 持続可能な公共施設の運営に向けて、既存施設の適切な維持・管理のほか、各施設のあり方や公共施設跡地の有効活用について検討します。
- 民間企業と連携した事業推進や広域で連携した取り組みを進め、財務負担の縮小と財源確保に取り組みます。
- 町税やふるさと納税、国や県の補助事業を活用して財源の基盤を強化し、安定した財政運営を目指します。
- 行政が取り組んでいる事業について、進捗状況の把握・見直しを行うことで、より効率的で財政的・人間的にも負担のない行政運営を目指します。

#### まちのみんなのできること

- 財政状況や町政運営について関心を持ち、理解を深めましょう。



#### 総合戦略

# 重点プロジェクト

- 1 さつまで“はたらく”プロジェクト
- 2 さつまで“つながり・住まう”プロジェクト
- 3 さつまで“はぐくむ”プロジェクト
- 4 さつまで“暮らす”プロジェクト



# 重点プロジェクト 1

## さつまで“はたらく” プロジェクト

- 農林水産業や商工業、観光などの産業は、地域経済の基礎となるだけでなく、働く意欲のある人を地域に呼び込み、若い世代が故郷にとどまるなど、まちの活力を維持していくうえでも重要です。
- さつま町で働く誰もが自分の望む働き方を選択することができるだけでなく、新たなことに挑戦したり、将来にわたって働き続けることができる環境をつくっていく必要があります。
- 新たな技術の導入を通じた生産性の向上や、地域の特徴を生かした産業の創出を通じて、農林水産業・商工業の振興に取り組み、持続的なさつま町の発展の基盤づくりと魅力的な就労環境の整備を進めます。



### 数値目標

立地協定企業の新規雇用者数(年平均)

R6

6人\*

R12

10人(累計50人)

※令和3～6年度の平均値



施策の方向性

1

### 稼げる農林業の実現

- 地産地消の推進や6次産業化、関係機関と連携のもとでの町産品のPR活動の推進などを通じて、町産品の周知と地域経済の活性化を図ります。
- ICTなどのデジタル技術を活用した効率的な生産体制の構築や農地の集積、竹林整備や森林施業にも大切な路網整備を通じて、農林業の生産性向上のための環境づくりを進めるとともに、新たな担い手の確保や農林業に従事している人の事業継続支援に取り組みます。

#### 基本計画における関連施策

分野 8-2 誰もが気軽に外出できる環境を整えます

分野 11-1 全国に誇れる畜産のまちを目指します

分野 11-2 豊かで美しい山林・竹林を保全します

分野 11-3 豊富な農林畜産物の販売促進に取り組みます

分野 11-4 農林水産業の持続可能な経営を支えます

#### 重要業績評価指標 (KPI)

物産館の売上額

R6

560百万円

R12

584百万円

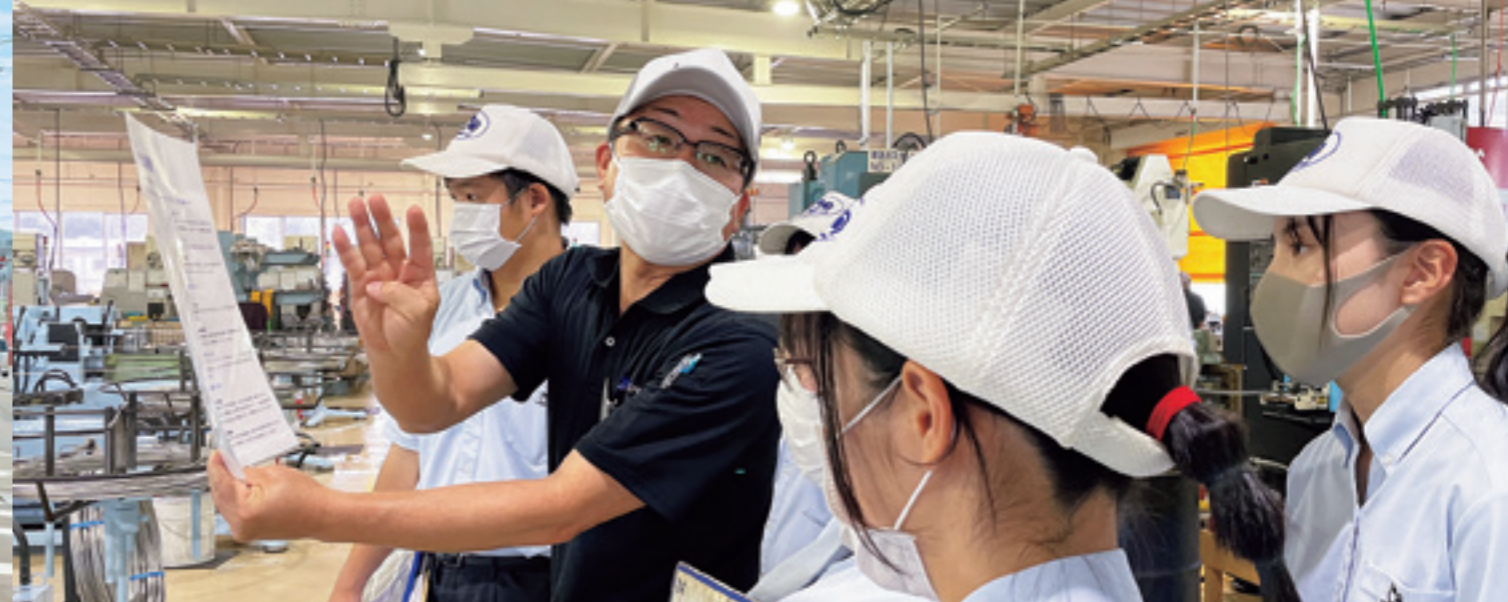
一般山林の再造林率

22.0%

68.0%

用語解説

重要業績評価指標 (KPI)：最終的な目標（重点プロジェクトにおいては「数値目標」のこと）の達成に向けて、取り組みがどの程度進んでいるのか、どのように進めていくべきか管理するために設定する指標。KPIはKey Performance Indicatorを略したもの。



施策の方向性

## 2 活気あふれる商工業の基盤づくり

- 町内への新たな企業の誘致や町外・県外への販路拡大などを推進することで、地場産業の基盤強化と拡大に取り組みます。
- 地域に愛され、魅力あふれる商業環境をつくるため、地域内外での消費を促進するとともに、空き店舗などの活用促進や創業支援を通じて、新たにさつま町でチャレンジができる環境をつくります。
- 地域や町内企業と連携した町内産業の魅力発信や学校でのキャリア教育を通じて、しごと・働くことへの興味・関心を高め、担い手の育成に取り組みます。

### 基本計画における関連施策

分野 2-1 | 子どもが主体的に学べる教育環境を整えます

分野 2-3 | 誰もが学び・育つ多様な機会をつくります

分野 12-1 | まちのにぎわいづくりを進めます

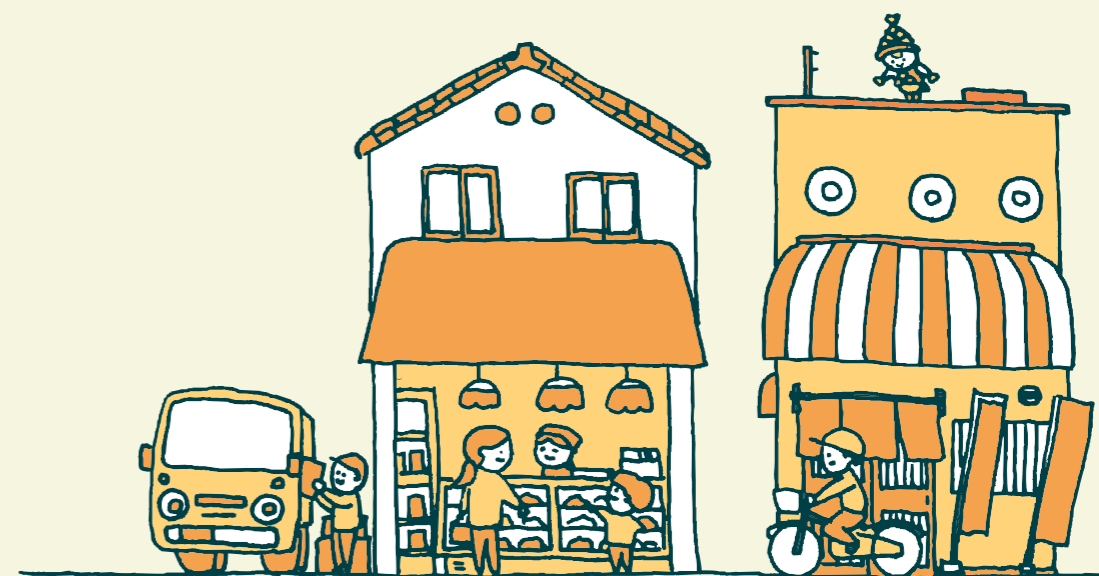
分野 12-2 | 誰もが働きやすい環境を整えます

分野 12-3 | 魅力あるさつまの逸品を町内外に発信します

分野 16-3 | 財政健全化と効率的な行政運営に取り組みます

### 重要業績評価指標 (KPI)

	R6	R12
町内企業ネットワークの会員企業数	15社	▶ 17社
さつま de まちゼミ講座参加者数	216人	▶ 250人
さつま de まちゼミ講座数	44講座	▶ 50講座
ふるさとさつま応援寄附金寄附額 (年間)	2.3億円	▶ 10億円
伝統的工芸品体験メニュー数	2件	▶ 3件
創業支援事業による創業・起業者数 (年間)	1人	▶ 3人
薩摩中央高校卒業生の町内企業就職率	19.0%	▶ 30.0%



# さつまで“つながり・住まう”プロジェクト

- さつま町が持つ自然の豊かさや歴史・文化といった魅力的な地域資源とアクセスの良さといった強みを組み合わせ、町内外での交流を促進することで、移住や関係人口の拡大につながる新たな人の動きをつくっていくことが必要です。
- 魅力の発信やイベントを通じた観光振興による交流の促進やシティプロモーションの推進、相談から移住まで一貫した移住施策のパッケージ化など、さつま町を知り、訪れ、交流し、移り住むといった、つながりから生まれる関係人口と移住者の増加に取り組みます。



数値目標

	R6	R12
ふるさと納税寄附件数	16,000件	66,000件
社会増減人口	-125人	-65人



施策の方向性

## 1 “らしさ”を生かした観光の活性化

- さつま町ならではの魅力を生かした観光コンテンツの創出やPRを通じて、統一感のあるまちのブランド化に取り組みます。
- さつま町を訪れる人を迎え、楽しんでもらえるよう、宿泊施設や観光施設、観光ルートの整備促進、観光案内などの環境整備を通じた受け入れ体制の拡充に取り組みます。

基本計画における関連施策

分野 8-2 誰もが気軽に外出できる環境を整えます

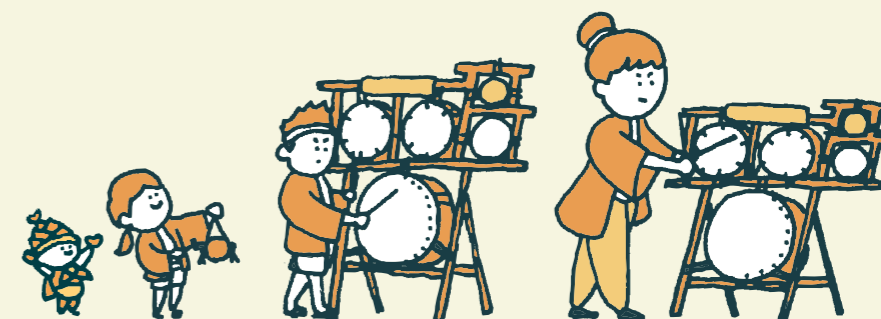
分野 13-1 訪れる人を迎える環境を整えます

分野 13-2 みんなでさつま町の魅力を町内外に発信します

分野 13-3 豊富な資源を活用し、さつま町に訪れる機会をつくれます

重要業績評価指標 (KPI)

	R6	R12
鶴田ダムインフラツーリズム参加者数(年間)	480人	500人
観光宿泊者数(年間)	81,775人	90,000人
薩摩のさつま認証品数(累計)	52商品	100商品
外国人宿泊者数(年間)	24,826人	27,000人





施策の方向性

## 2 広域連携での交流促進

- 北薩摩や奥薩摩、川内川といったさつま町とかかわりのある観光資源を有効に活用するため、周辺自治体や団体等と連携した広域での魅力創出に取り組みます。

### 基本計画における関連施策

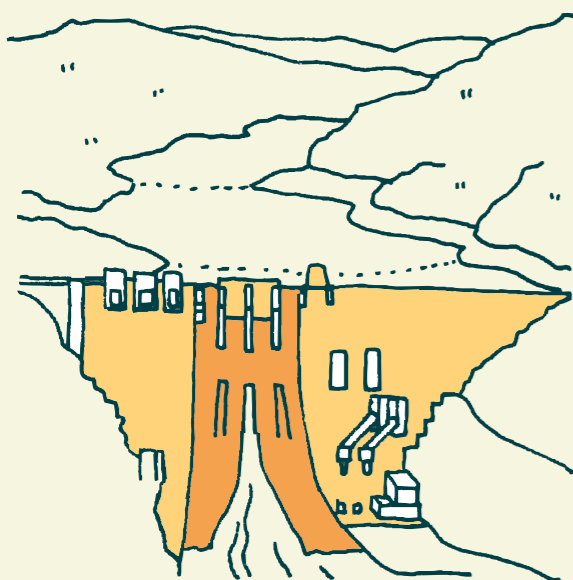
分野 13-2 みんなでさつま町の魅力を町内外に発信します

分野 13-3 豊富な資源を活用し、さつま町に訪れる機会をつくります

分野 14-1 多様な生物が息づく山河を保全します

### 重要業績評価指標 (KPI)

	R6	R12
Niterra 日特スパークテック WKS 公園入園者数 (年間)	91,935 人	▶ 100,000 人
鶴田ダム来訪者数 (年間)	19,368 人	▶ 22,000 人



施策の方向性

## 3 移住・定住に向けた支援とアプローチの充実

- 移住に関心のある人へ向けた情報発信や空き家等を活用した移住環境の整備、UIJ ターン促進に向けた支援制度の実施を通じて、さつま町への移住を後押しします。
- 周辺自治体への通勤利便性の高い地理的利点と豊かな自然環境を併せ持つ強みを生かして、ベッドタウンとしての定住促進に取り組みます。
- スポーツ合宿等の受け入れ体制の充実や、地域の特色を生かしたイベント等の開催を支援し、交流の促進と関係人口の創出に取り組みます。

### 基本計画における関連施策

分野 4-1 持続可能な地域づくりを進めます

分野 4-2 町民主体の地域づくりを推進します

分野 8-1 住みたい・住み続けたい住環境を整えます

分野 12-2 誰もが働きやすい環境を整えます

分野 13-3 豊富な資源を活用し、さつま町に訪れる機会をつくります

### 重要業績評価指標 (KPI)

	R6	R12
移住相談会等での相談人数 (年間)	72 人	▶ 80 人
空き家バンク成約件数	15 件	▶ 20 件
移住定住促進事業申請件数	118 件	▶ 144 件
移住定住促進事業による転入者数	95 人	▶ 112 人
奨学金制度利用者のうち、卒業後に町内に定住した人数 (累計)	2 人	▶ 4 人
地域おこし協力隊員の受け入れ人数 (累計)	10 人	▶ 20 人
地域おこし協力隊員の任期後の定住率	42.9%	▶ 60.0%
さつま体験宿利用者数 (年間)	21 人	▶ 25 人
スポーツコンベンション宿泊者数 (年間)	4,278 人	▶ 5,000 人
地域イベント交流人口	29,159 人	▶ 30,000 人

# さつまで“はぐくむ” プロジェクト

- 少子高齢化が進むさつま町においては、子育て世帯の転入促進や出生数の向上は、まちの活力を維持していくために非常に重要です。また、こどもが心豊かに、主体的に学び・育つ教育環境をつくることは、さつま町で暮らすこどもたちが自らの将来をよりよいものにしていくためにも重要です。
- 出会いから結婚、妊娠、出産、子育てといった切れ目のない支援体制の構築や、地域でこどもを育てる環境づくりを通じて、子育て世代に選ばれるまちをつくります。また、一人ひとりに寄り添った教育環境づくりや、郷土学習、キャリア教育を通じて、こどもたちの生きる力をはぐくむまちを目指します。



数値目標

	R6	R12
合計特殊出生率	1.59 <sup>*</sup>	1.65
保育・子育て関連施策満足度	26.1%	30.0%
0～14歳人口比率	9.7%	9.3%

※令和4年



施策の方向性  
**1**

## 出会い・結婚・出産にわたる切れ目のない支援

- 企業や各種団体と連携した出会いの機会の創出に取り組むとともに、妊娠から産前・産後のケアへの支援を充実させます。

### 基本計画における関連施策

分野 1-1 | こどもと保護者の健康と健やかな成長を守ります

分野 1-2 | 安心して子育てができる支援と環境を整えます

分野 1-3 | こどもと保護者を地域でみんなで応援します

分野 8-1 | 住みたい・住み続けたい住環境を整えます

### 重要業績評価指標 (KPI)

	R6	R12
婚活事業によるマッチング成立数 <sup>*</sup>	32組	100組
母子健康手帳交付者に対する母子手帳アプリ登録率	0.0%	60.0%
産後ケア応援券利用率	43.4%	60.0%

※令和6年度現状値は令和3～6年度の累計、令和12年度目標値は令和8～12年度までの累計



施策の方向性

## 2

## みんなで子育てを応援する環境づくり

- 保育に関する支援の充実や子育てに関する相談支援を充実させるとともに、関係機関と連携したきめ細かな子育て支援を行います。
- 地域と連携した学びの場の創出や、薩摩中央高校への就学支援など、地域と学ぶ環境の整備を進め、こどもたちの成長を地域全体で応援します。

## 基本計画における関連施策

分野 安心して子育てができる  
1-2 支援と環境を整えます

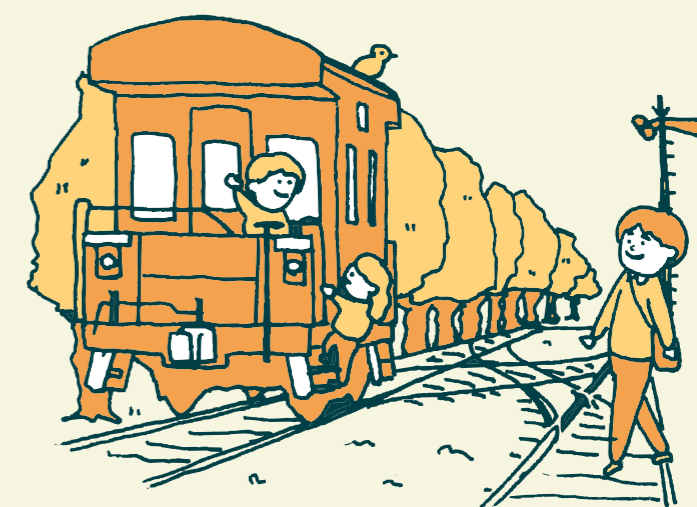
分野 こどもと保護者を地域の  
1-3 みんなで応援します

分野 こどもが主体的に学べる  
2-1 教育環境を整えます

分野 誰もが学び・育つ多様な  
2-3 機会をつくれます

## 重要業績評価指標 (KPI)

	R6	R12
親子で集える場所の設置	0箇所	▶ 1箇所
「さつまっ子」チャレンジ教室の児童生徒参加者数(年間)	16人	▶ 20人
薩摩中央高等学校入学者数(各年)	70人	▶ 120人
「さつま検定」の合格率	38.6%	▶ 45.0%
虐待対応専門相談員の設置	0人	▶ 1人
薩摩中央高等学校地域みらい留学者数(累計)	0人	▶ 10人
地域学校協働活動による活動実績	116回	▶ 150回
こどもの図書室(館)年間利用回数(幼~中)	3.2回	▶ 4.0回



# 重点プロジェクト4

## さつまで“暮らす”プロジェクト

- 誰もが住みたいと思えるさつま町であるためには、生活基盤や一人ひとりの共生の意識、健康増進といったさまざまな暮らしの環境や支援を整えていくことが不可欠です。
- 道路や交通など暮らしに関する安全・快適なまちづくりを進めるとともに、保健・福祉に関する取り組みの充実による一人ひとりのいきいきとした暮らしの支援、性別や国籍などにかかわらず互いを認め合う意識の醸成を進めます。
- 将来にわたってさつま町を守っていくために、健全な行財政運営を進めるとともに、町民のニーズに柔軟に対応できる行政サービスに向けて、自治体 DX を推進します。



### 数値目標

住みたいと感じる町民の割合 ※

R6

69.8%



R12

75.0%

※「住みたい」「どちらかといえば住みたい」の合計



施策の方向性

1

### 暮らしを支える保健・福祉の充実

- 一人ひとりが自らの健康を気にかける、楽しみながら進んで体を動かすことができる機会の創出に取り組むとともに、福祉のネットワーク構築や支え合い活動を推進します。

#### 基本計画における関連施策

分野 2-3 | 誰もが学び・育つ多様な機会をつくります

分野 3-3 | 誰もがスポーツにふれることができる機会をつくります

分野 4-2 | 町民主体の地域づくりを推進します

分野 5-1 | 高齢になってもいきいきと暮らせる環境を整えます

分野 5-2 | 高齢者とその家族を地域全体で支える体制をつくります

分野 7-1 | 一人ひとりの健康への意識を高めます

#### 重要業績評価指標 (KPI)

ころばん体操参加人数 (年間)

R6

1,043人

R12

▶ 1,050人

お助け隊団体数

7団体

▶ 20団体

さつまの郷出前講座 (ニュースポーツ利用団体 / 年間)

20団体

▶ 30団体

ボランティア団体等の登録者数

985人

▶ 1,100人



施策の方向性

## 2 快適な暮らしの基盤づくり

- 誰もが利用しやすい公共交通ネットワークの構築に取り組むとともに、町内を快適に移動できる道路環境の整備に取り組みます。
- 災害への対策など、町民を守り安心して暮らせる環境づくりを進めます。
- 中心市街地や身近な地域において、気軽に集い交流するとともに、まちのにぎわいにつながる拠点づくりを進めます。

### 基本計画における関連施策

分野 誰もが気軽に外出できる  
8-2 環境を整えます

分野 災害に強いまちづくりを  
9-2 推進します

分野 まちのにぎわいづくりを  
12-1 進めます

### 重要業績評価指標 (KPI)

	R6	R12
乗合タクシーの1便あたりの乗車人数	1.66人 ▶	1.99人
コミュニティバス1便あたりの利用者数	4.36人 ▶	5.23人
道路整備総延長(道路台帳延長)	804km ▶	810km
新たなまちの“にぎわい拠点”の数	0箇所 ▶	1箇所

施策の方向性

## 3 誰もが活躍できる意識と環境づくり

- 仕事や家庭において男女がともに協力できるよう、男女共同参画意識の醸成や女性の社会参画を進めます。
- 国籍にかかわらず、互いを理解し暮らすことができるよう共生意識の醸成と交流を促進します。

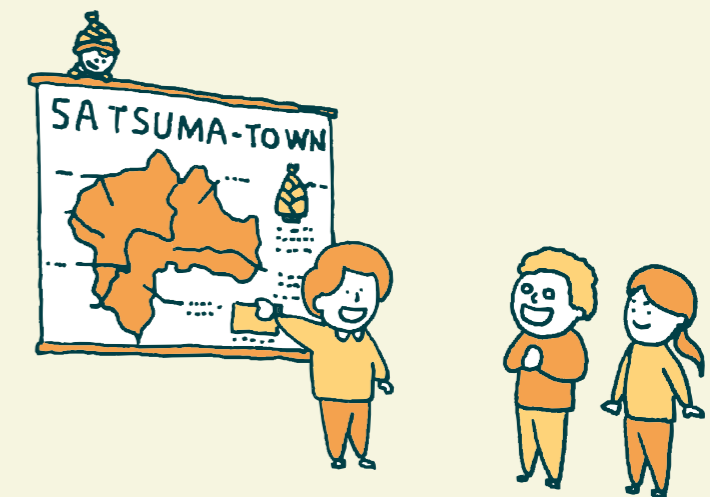
### 基本計画における関連施策

分野 誰もが活躍できる  
15-2 まちにします

分野 多文化共生の地域づくり  
15-3 を進めます

### 重要業績評価指標 (KPI)

	R6	R12
男女共同参画町民向けイベント等の参加者数	100人 ▶	150人
多文化交流イベント年間延べ参加者数	50人 ▶	100人





施策の方向性

## 4 自治体 DX と健全な行財政運営の推進

- さまざまな分野におけるデジタル技術の活用を進め、行政業務の効率化や行政サービスの利便性向上につなげます。
- デジタル化の恩恵を誰もが受けることができるよう、デジタル技術の活用に関するきめ細かな支援を行います。
- 民間企業や教育機関とも連携した地域課題の解決に取り組むとともに、新たな歳入の確保や業務の適切な見直しや効率化による歳出の抑制に取り組みます。

### 基本計画における関連施策

分野 行政サービスの向上を  
16-1 図ります

分野 限られた人材を大切に、実行  
16-2 力のある行政組織をつくります

分野 財政健全化と効率的な  
16-3 行政運営に取り組みます

### 重要業績評価指標 (KPI)

	R6	R12
「行かない窓口」での手続き申請等事務数 (年間)	111 件	▶ 120 件
「行かない窓口」での手続き申請率	9.4%	▶ 12.0%

# 資料編